※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	教育図書「未来へつなぐ家庭基礎３６５」						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
- 生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて、関心をもち、その充実、向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2年1学期	生涯の生活設計	・あなたの将来，どうする？ ・自立への一歩を踏み出そう ・家族・家庭って何？ ・将来の自分と家庭を想像する	a.・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 ・これからの自分の人生について想像し，まとめたり発表したりすることができる。 ・自らの目標を想定し，そのために必要なことやリスクについて考えている。 b. ・これからの自分の人生について想像し，まとめたり発表したりすることができる。 ・自らの目標を想定し，そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。 c. ・人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。 ・生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち，学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	定期考査 実技課題	ワークシート	授業観察 実習レポート
	食生活	・なぜごはんを食べるの？ ・私たちは何を食べているの？ ・安全に食べよう ・健康に食べよう ◆調理実習	a.・食と健康の関わりについて知り，食事の大切さを理解している。 ・各ライフステージごとの食生活の課題と改善策について理解している。 ・栄養素の特徴と，それを多く含む食品について理解してい	定期考査 実技課題	ワークシート	授業観察 実習レポート

※令和４年度以降入学生用

		・これからも食事を楽しむために	る。 ・日常用いられる食品の栄養素的特質，調理上の性質について科学的視点から理解している。 ・食品の表示の意味を理解している。 ・食中毒や食物アレルギーについて理解し，健康・安全を考えた調理をすることができる。 ・日常食の調理について，栄養バランスのよい献立作成，食材の選択，調理，盛り付け，マナー，配膳などについて総合的に理解している。 ・料理の作り方を理解し，基礎的な技術を身に付け，効率よく調理することができる。 ・資源，エネルギーに配慮した食品の購入，調理，保存ができる。 b. ・自身の食生活を分析し，現代の食生活の傾向と課題と比較して，まとめたり，発表したりすることができる。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し，自身や家族の献立を考え，作成することができる。 ・自身の食生活について，人と比較して意見を言うことができる。 ・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 ・調理実習や実験，新聞や書籍，インターネットによる資料収集などを通して，食の安全や栄養素について，考えをまとめたり，発表したりすることができる。 ・自分の住む地域や他の地域の食文化について調べたりまとめたりすることができる。 ・自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。 ・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 c. ・栄養素や食品の知識を生かして，自分や家族の食生活を改善しようとしている。 ・食生活の多様化や食環境の変化について知り，食生活と環境について科学的に考えようとしている。 ・実生活で食品の表示を見て活用			

※令和４年度以降入学生用

			しようとしている。 ・食の安全・衛生について関心を持ち，現代の食生活における課題について目を向けている。 ・配膳や食事マナーを考えて，食事を整え，楽しく食事をしようとしている。 ・自身や家族のほか，さまざまな年齢・ライフスタイルの人に必要な栄養素，適した献立について興味を持って調べている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し，生活の充実向上を図っている。 ・行事食・郷土食・伝統的な加工食品などの食生活の文化と背景について理解し，自身が将来の担い手であるという意識を持っている。			

※令和４年度以降入学生用

２年２学期	保育	・子どもはどう生まれ育つ？ ・子どもとどうかかわろう？ ・これからの子育てとは？	a. ・子どもの心身の特徴や発達，遊びの意義を理解している。 ・子どもの生活の概要を理解している。 ・生命の尊さを認識するとともに，保育における親やおとなの役割を理解している。 ・子どもは生活の中で人と関わることを通して成長することを理解している。 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。 ・子どもの権利と福祉について理解している。 ・少子化，育児不安，児童虐待，子どもの貧困など，現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え，新聞・書籍・インターネットを活用したり，地域の関連機関へ調査に出向いたりして，資料を収集して調査することができる。 b. ・子どもの心身の特徴や発達，遊びの意義を捉え，子どもにとってよい環境について考え，意見をまとめたり，発表したりすることができる。 ・親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 ・親の役割や子どもにとって望ましい保育環境について，自分の考えを入れながらまとめることができる。 ・現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめたり，発表したりすることができる。 ・子どもの生活や遊びについて調査・観察したことをまとめたり発表したりすることができる。 c. ・子どもに対するイメージを膨らませ，実践的・体験的な学習を通して，学習に取り組もうとしている。 ・保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。 ・子どもの権利と福祉について考えようとしている。 ・自分が将来，保育に関わる存在であることを理解し，自分ごととして学習に取り組んでいる。	定期考査 実技課題	ワークシート	授業観察 実習レポート

※令和４年度以降入学生用

	衣生活	・衣服の役割って何だろう？ ・衣服はどうやってつくられている？ ・衣服の計画・管理を知ろう ◆衣服実習	a.　・被服の機能について理解している。 ・衣服が健康に与える影響について理解している。 ・ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 ・三原組織や編物の構造を理解している。 ・平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ・被服の入手，洗濯，保管などの被服管理について理解し，管理できる技術を習得している。 ・布の縫い方など，基礎的な技術を身に付けている。 ・資源の有効利用の観点から，購入，活用，手入れ，再利用，廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。 ・資源の有効利用まで考えた衣服の購入，再利用，廃棄までの衣服計画をたてることができる。 b.　・衣生活に関する学習を通して，自身の着装について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 ・被服の社会的機能について，新聞，書籍，インターネットなどを通して資料を収集したり，調査したりしてまとめることができる。 ・自分の衣生活について，人と比較して意見を言うことができる。 ・衣服の原料から廃棄（再利用）までの流れを調べ，まとめることができる。 c.　・自身の衣生活の分析を通して，衣服に関心を持ち，現代の衣生活に関心を持とうとしている。 ・衣服で個性を表現しようとしている。 ・衣服の機能や安全性，環境への配慮などの知識を生かして，自分の衣生活を改善しようとしている。 ・社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし，着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。 ・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。 ・私たちの衣生活に関する文化や背景について理解し，自身が将来の担い手であるという意識を持っている。	定期考査 実技課題	ワークシート	授業観察 実習レポート

※令和４年度以降入学生用

	住生活	・どのような家に住みたい？ ・安全に住もう ・快適に住もう ・住まいの課題と未来の暮らし	a.　・住宅の役割，住空間の計画，住環境の整備について科学的に理解している。 ・安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け，環境にも配慮した住生活について理解している。 ・住む人々の各ライフステージごとの変化や住宅に求める事柄の変化について理解している。 ・住居の平面図を読みとることができる。 ・様々な住宅様式の文化的側面を理解している。 ・地域社会とつながり，暮らすことの重要性について理解している。 ・住生活の設計に必要な情報を収集・整理し，計画をたてることができる。 b.　・各ライフステージに応じた住居について考え，まとめたり，発表したりできる。 ・住んでいる地域のハザードマップなどを参考にしながら，防災への備えについてまとめたり発表したりすることができる。 ・防犯，防火，耐震などの安全性が高く，日照，採光，換気，遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。 ・気候や風土に応じた住居の特徴や変遷について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 ・動線を考えて平面図を作成し，まとめたり発表したりすることができる。 ・自然環境や社会環境と調和した住居のあり方について，新聞，書籍，インターネットなどを通して資料を収集したり，考えをまとめて発表したりできる。 ・住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについてまとめたり発表したりすることができる。 c.　・住まいの役割について，自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 ・住居の手入れについて考えようとしている。 ・住居の安全性や防災の知識を生かして，家庭生活において具体的な行動に移すことができる。 ・住生活の文化について関心を持っている。 ・将来の住まい方について考えようとしている。	定期考査 実技課題	ワークシート	授業観察 実習レポート

※令和４年度以降入学生用

２年３学期	家庭経済	・何をどうやって買う？ ・かしこい消費者になろう	a.　・家計と経済社会の関わりを理解している。 ・家計における収入と支出について理解している。 ・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。 ・金融商品とその特徴について理解している。 ・家計の管理に関する具体的事例を収集し，整理することができる。 ・生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。 b.　・家計管理について具体的な事例を通して，シミュレーションすることができる。 ・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ，発表することができる。 ・将来必要になる費用や資産形成について考えたり，発表したりすることができる。 c.　・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し，自身の消費行動として具体的に考えようとしている。 ・自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任について，自分ごととして捉えようとしている。 ・消費者問題について自分ごととして捉えて対策を考えようとしている。また，他の人への啓発の意識を持っている。 ・消費者の権利と責任に関心を持ち，現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えようとしている。	定期考査	ワークシート	授業観察 実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度